

令和3年度 陽東中学校 学校評価計画書

1 教育目標（目指す生徒像含む）

生徒一人一人の健康でたくましい身体、個性を生かした創造的な知性と技能、豊かな心情、強靱な意志、正しい社会連帯意識を養い自己実現を通して国家社会の進歩発展に貢献できる人間を育成する。

- (1) 自ら学び考える生徒（本気） (2) 豊かな心で思いやりのある生徒（勇気）
(3) 気力あふれるたくましい生徒（元気） (4) 進んで仕事をする生徒（根気）

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

国内外の政治・経済・環境・情報など社会の急激な変化に伴い、学校や生徒を取り巻く環境の変化や価値観の多様化が進む中、学校教育は様々な課題を抱え、それらへの対応が求められている。このような中であって学校は生徒に確かな学力を身に付けさせ、豊かな心を育むこと、ひいては主体的な判断力をもち、これからの社会をたくましく生き抜くことのできる力を身に付けさせることが最大の使命である。その使命を果たすためには、教職員の専門職としての資質を高めることが重要である。また、規範意識やコンプライアンス意識を高め、生徒、保護者、地域社会に信頼される教職員でなければならない。そして、学校、家庭、地域がそれぞれの教育力を発揮するとともに、一層連携を深め、開かれた学校づくりを推進する必要がある。

3 学校経営の方針（中期的視点）※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

- 1 確かな学力の定着を目指して、教育活動のねらいを明確にし、分かる授業の実践と一人一人のよさを生かす活動の充実に努める。
2 生徒が自主的、主体的に活動する場の充実に努め、基本的な生活習慣を身に付けさせるとともに、豊かな心の育成に努める。
○3 たくましく生きるための健康や安全に配慮し、自己の目標に向かって挑戦する活動の充実に努める。
4 教職員の共通理解及び情報共有の下、配慮を要する生徒に対して組織体制を確立した指導に努める。
5 温かく潤いのある教育環境づくりに努める。
○6 家庭や地域社会及び地域学校園との連携を深め、信頼される学校、地域とともにある学校づくりに努める。
7 教育公務員としての自覚と責任をもちコンプライアンスを遵守するとともに専門職としての資質向上に努める。また校務の見直しをしたり、組織的な対応をしたりすることにより、仕事の効率化を図るとともに、勤務時間を意識した働き方を推進する。

〔陽東地域学校園教育ビジョン〕

「地域の教育力を生かし、地域とのかかわりを通して、確かな学力の定着を図り、心豊かでたくましく生きる子どもの育成」

4 今年度の重点目標（短期的視点）※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

【学校運営】

- ・ 学校経営への参画意識の高揚と組織的な企画・運営の推進
- ・ 学校や地域の実態に即した教育計画の作成
- 専門職としての研修の推進
- ・ 教育目標実現のための学年・学級目標の設定、具体策の明確化と実践
- ・ 組織体制を確立し連携協力した特別支援教育の推進

【学習指導】

- ・ 一人一人に学ぶ楽しさを体得させる学習指導の工夫（豊かな学び創造プロジェクト）
- ・ 市の方針を踏まえた授業時数の確保（実質的指導時間の確保）
- ・ 学習目標の明確化と振り返り、学習過程の工夫、達成状況の確認
- ・ 個に応じた学習の推進
- ・ 国・県・市の学力調査等の円滑な実施と結果の分析活用
- ・ 主体的に考え表現できる言語活動の充実
- 自主的な学習習慣の定着を培う指導

- ICT活用の共有化による授業の効率化と学力の向上
- キャリア教育の充実
 - ・ 「道徳」授業の円滑な実施と適切な評価
 - ・ 道徳的実践力の醸成・向上

【児童生徒指導】

- ・ 豊かな心を育てる読書活動の推進
- ・ 認め合い支え合う集団づくりを通じた人権教育の推進
- 福祉・ボランティア活動の推進
 - ・ 潤いのある教育環境づくりの推進
- 基本的生活習慣を身に付けさせる指導の充実
 - ・ スマートフォンや携帯電話及びSNS等の正しい利用法の指導と問題の未然防止
 - ・ 生徒のよさを見取り、自己肯定感を高める指導の充実
 - ・ いじめ等の問題行動の未然防止と早期対応
 - ・ 校内美化意識の高揚と清掃の意欲的な実践

【健康（保健安全・食育）体力】

- ・ 「部活動方針」に基づく部活動の推進・充実
- 体力の向上を目指す態度の育成
 - ・ 発達段階に応じた薬物乱用防止、性に関する指導の充実
 - ・ 感染症予防と健康管理能力の育成
 - ・ 安全教育の充実・徹底
- 食に関する指導と望ましい食習慣の推進

【特色ある学校づくり】

- ・ 心をたがやす「花いっぱいプロジェクト」の実施
- ・ 学区内公園清掃活動（町も心もびかびか活動）
- ・ 昇降口前・中庭清掃（NFV「ニュー フリーダム ボランティア」）
- ・ 地区体育祭等へのボランティア参加
- ・ ペットボトルキャップ・アルミ缶回収による車椅子寄贈
- ・ 生き方を考えさせるキャリア教育（ドリームデザイン教室等）

5 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
目指す児童生徒の姿	A1 児童生徒は、進んで学習に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケートの「生徒は、授業中、話をしっかりと聞いたり、発表したりするなど、進んで学習に取り組んでいる。」 →生徒肯定回答 80%以上 教職員肯定回答 80%以上	① 主体的に考え表現できる言語活動を充実させ、生徒が「意見を出し合い、共に考える」学び合いの場を設定し、積極的な学習態度を育てる。 ② 生徒の考えを引き出し、深める発問や板書を工夫し、生徒が自分の思いや考えを自由に言える授業の雰囲気づくりに努める。		

A 2 児童生徒は、思いやりの心をもっている。 A11 児童生徒は、高齢者に対する感謝やいたわりの心をもっている。 【数値指標】 全体アンケートの「生徒は、誰に対しても、思いやりの心をもって優しく接している。」 →教職員肯定回答 90%以上	① 道徳科の授業を通して、「思いやりの心をもって人と接するとともに、人間愛の精神を深めること」を指導していく。 ② 道徳科の授業を通して、「父母、祖父母を敬愛し、家族の一員として自覚をもって充実した生活を築くこと」を指導していく。	
A 3 児童生徒は、きまりやマナーを守って、生活をしている。 【数値指標】 全体アンケートの「生徒は、きまりやマナーを守って、生活をしている。」 →生徒肯定回答 85%以上	① 学年委員会などと協力し、5分前行動、3分前着席など、時間に余裕を持って行動できるよう働きかけていく。また、教師自らも率先して行動する。 ② 生活安全委員会などと協力し、更なる規範意識の育成やマナーの向上を図る。	
A 4 児童生徒は、時と場に応じたあいさつをしている。 【数値指標】 全体アンケートの「生徒は、時と場に応じたあいさつをしている。」 →生徒肯定回答 90%以上	① 生徒会執行部、生活安全委員会等と協力し、あいさつ運動の充実を図り、その定着を目指す。 ② あいさつと返事がすべての集団活動の基本であることに気付かせ、学校生活のあらゆる場面での習慣化を目指す。	
A 5 児童生徒は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。 A 7 児童生徒は、夢や目標をもって、社会に貢献できるよう努力している。 【数値指標】 全体アンケートの「夢や目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。」 →生徒肯定回答 80%以上 教職員肯定回答 80%以上	① 学年・学級目標、学校行事のスローガン等を教室に掲示し、それに向けての各自の目標を明確にするとともに、協力して目標に向かって努力する態度を育成する。 ② 目標を提示するだけでなく、定期的に降り帰りを実施し、達成できない点を確認する。 ③ 「ドリームデザイン教室」等を実施し、生き方を考えさせるキャリア教育を実践する。	

A 6 児童生徒は、健康や安全に気を付けて生活している。 【数値指標】 全体アンケートの「生徒は、健康や安全に気を付けて生活している。」 →生徒肯定回答 85%以上 教職員肯定回答 85%以上	① 昨年度に引き続き、家庭科や体育科、給食等により健康への意識の高揚に努める。 ② 交通安全教室や避難訓練、登下校指導、日々の指導を行い、安全への意識高揚に努める。	
A 8 児童生徒は、英語を使ってコミュニケーションしている。 【数値指標】 全体アンケートの「児童（生徒）は、外国語活動（英語）の授業やALT との交流の際に、英語を使ってコミュニケーションしている。」 →生徒肯定回答 80%以上	① 英語で伝え合うことの楽しさを実感するために、様々な英語表現を用いた言語活動の場を多く取り入れた英語の授業を実践する。 ② A L T の給食や学校行事への参加などを通して、生きた英語に触れる機会を充実させる。	
A 9 児童生徒は、宇都宮の良さを知っている。 【数値指標】 全体アンケートの「児童（生徒）は、宇都宮の良さを知っている。」 →教職員肯定回答 70%以上	① 各教科の授業で、宇都宮ブランド（郷土料理や大谷石、ジャズ、子育て支援等）について触れる。 ② 郷土の伝統と文化を大切にする態度を育てる内容項目の道徳の授業で、導入や教師の説話等で宇都宮について触れる。	
A10 校内は、学習にふさわしい環境となっている。 A25 学校は、学習に必要な I C T 機器や図書等を整えている。 【数値指標】 全体アンケートの「児童（生徒）は、I C T 機器や図書等を学習に活用している。」 →教職員肯定回答 80%以上	① chromebook 等情報機器の基本的操作方法を習得し、有効に活用する技能を身に付けさせることで、情報活用能力を育てる。 ② 目的に応じた各種辞書・辞典や問題解決のための一般図書資料を積極的に利用する態度を育てる。	

A12 児童生徒は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。 【数値指標】 全体アンケートの「児童（生徒）は、環境問題や防災等の「持続可能な社会」について、関心をもっている。」 →教職員肯定回答 70%以上	① 社会や理科、英語等の授業で、化石燃料などの有限な資源の枯渇に備え、太陽光や風力などの再生エネルギーに目を向けさせる。 ② 新聞記事やニュースなどの情報から、環境問題や災害、事故等を取り上げ、身の回りに起こっている出来事に関心を持たせる。 ③ 教室にポスターを掲示したり、パワーポイントや資料を使って視覚に訴える資料を準備したりして、周知を図る。	
A13 教職員は、特別な支援を必要とする児童（生徒）や外国人児童（生徒）等の実態に応じて、適切な支援をしている。 A16 教職員は、外国人児童生徒等の実態に応じて、適切な支援をしている。 【数値指標】 全体アンケートの「教職員は、特別な支援を必要とする児童（生徒）や外国人児童（生徒）等の実態に応じて、適切な支援をしている。」 →教職員肯定回答 80%以上	① 特別な支援を必要とする生徒について、必要に応じて適切な対応ができており、今後も継続していくことで、生徒一人一人にとって居がいのある学校作りを目指す。 ② ユニバーサルデザインの重要性を教職員や生徒がより一層理解できるように、共通理解を図る資料等を作成・配布する。	
A14 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。 【数値指標】 全体アンケートの「学校は、いじめ対策に熱心に取り組んでいる。」 →生徒肯定回答 90%以上	① 全校集会、学年集会、また学級活動を通して、「いじめをしない・させない・見逃さない」という意識をもたせる指導をしていく。 ② いじめ根絶集会などの生徒の自治的な活動を支援し、いじめが許されない行為であることへの更なる意識の高揚に努める。 ③ 道徳科の授業を通して、相手の立場や個性を否定する「いじめ」を絶対に許さないという道徳的実践意欲・態度を育てる。	

	A15 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。 【数値指標】 全体アンケートの「教職員は、不登校を生まないう、一人一人の児童（生徒）を大切に、児童（生徒）がともに認め励まし合う学級経営を行っている。」 →生徒肯定回答 90%以上 教職員肯定回答 90%以上	① 家庭との協力関係をより一層強めるために、保護者との電話連絡や家庭訪問をこまめに行い、SC やMS との連携を密にすると共に、市教育センター等の関係機関との連携も強めていく。 ② スタンダードダイアリーの有効活用をより強く推し進める。	
目指す学校の姿	A17 学校は、活気があり、明るくいそいそとした雰囲気である。 【数値指標】 全体アンケートの「私は、今の学校が好きです。」「学校全体に活気があり、明るくいそいそとした雰囲気である。」 →生徒肯定回答 85%以上	① 生徒が協力しながら意欲的・主体的に活動でき、達成感や自己肯定感を得られるような場を設定しつつ、特別な配慮を必要とする生徒にも学業指導の充実を図りながら、「居がい」のある学校を目指す。	
	A18 教職員は、分かる授業や児童生徒にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。 【数値指標】 全体アンケートの「教職員は、分かりやすい授業や一人一人へのきめ細かな指導をしている。」 →生徒肯定回答 85%以上	① 生徒の学習意欲を喚起するとともに、「ねらい」「学び合い」「まとめ」「振り返り」を適切に位置付け、「分かる・できる授業」づくりに努める。 ② 個に応じたきめ細かい指導を行い、習熟度別学習やT・Tなど指導方法を工夫し、基礎・基本の定着を図る。	

A19 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケートの「学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。」 →教職員肯定回答 80%以上	① 職員間の共通理解はもとより、外部関係機関及び地域ボランティアとの連携もさらに強めることで、業務の効率化を図っていく。 ② 教職員全員が、同じベクトルで目指す学校像に向かって業務が進められるよう、学校マネジメントシステムを生かしたPDCAサイクルを回していけるようにする。	
A20 学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケートの「学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。」 →教職員肯定回答 70%以上	① 業務の効率化を図るとともに、業務に必要感をもって取り組めるよう、業務の第一義をしっかりと確認しながら業務に当たる。 ② 「リフレッシュデー」の確実な実施や各自のタイムマネジメント向上など、意識改革に取り組んでいく。	
A21 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。 【数値指標】 全体アンケートの「学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。」「学校は、小学生や中学生が交流する活動を行っている。」 →教職員肯定回答 80%以上	① 義務教育9か年で目指す子供像を明確にし、基礎期、活用期、発展期それぞれの到達目標を確認しながら、「重点化を図る指導内容」について、小中の情報交換を十分に行い、具体的な指導を積み重ねていく。 ② 小中協働の意識や小中一貫教育への参画意識を高めるために、分科会代表者会議及び運営委員会で、重点課題や具体策の確認などを話し合う。	

本校の特色・課題等	A22 学校は、「地域の教育力を生かした特色ある教育活動を展開している。」 A23 学校は、「家庭・地域・企業等と連携・協力して、よりよい児童生徒の育成に取り組んでいる。」 【数値指標】 全体アンケートの「学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。」 →保護者肯定回答 80%以上	① 地域人材・学生ボランティアの効果的な活用を通して、地域と連携・協力した学習活動の推進を図る。 ② 生徒が地域や地域学校園内の小学校で地区体育祭・文化祭への参加, HUG 防災訓練への参加等の機会を設け、地域と積極的に交流活動をするすることで、より一層の連携を図る。	
	A24 学校は、「利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。」 【数値指標】 全体アンケートの「学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。」 →教職員肯定回答 90%以上	① 安全点検の確実な実施と修繕に努める。 ② 清掃美化コンクールの実施により、清掃活動状況の改善が図られてきたので、今後も継続していく。	
	B 1 教職員は、「学校生活アンケート」や教育相談などを定期的に実施し、生徒の悩みに適切に対応している。 【数値指標】 全体アンケートの「教員は、イヤな思い調査や教育相談などを通して、生徒の悩みに適切に対応してくれる。」 →生徒肯定回答 90%以上	① 日常生活全般において校内巡回やスタンダードダイアリーの確認, 定期的な教育相談や「学校生活アンケート」(いじめ調査)を活用し、いじめへの即時対応や早期発見・未然防止に努める。 ② 「いじめゼロ強調月間」と関連して学級活動での話し合い活動の推進を図る。	

B 2 生徒は、身の回りを清潔にし、給食後の歯みがきを必ずしている。 【数値指標】 全体アンケートの「生徒は、身の回りを清潔にし、給食後の歯みがきを必ずしている」 →生徒肯定回答 70%以上	① 担任教諭による日常指導や、生徒会保健委員会による定期的な広報活動・ブクブク歯みがきチェックを行い、衛生習慣を回復させる。 ② 地域学校園の取組（カラーテスター使用の歯みがきチェック等）を行い、家庭での丁寧な歯みがきの習慣化を図る。	
B 3 生徒は、朝の読書の時間において進んで読書を行い、読書の幅を広げている。 【数値指標】 全体アンケートの「朝の読書の時間において進んで読書をするなど読書の幅を広げることができた。」 →生徒肯定回答 95%以上 →教職員肯定回答 95%以上	① 学級担任は生徒と共に読書を行い、生徒が良い本と出合う機会としての読書活動を充実させる。 ② 地域ボランティアの協力による本の読み聞かせを全学級で行い、読書への関心を高める。	
B 4 教職員は、定期的に登校指導や下校指導を行い、交通事故防止に努めている。 【数値指標】 全体アンケートの「教職員は、定期的に交通指導や登校指導を行い、交通事故防止に努めている。」 →生徒肯定回答 95%以上 →教職員肯定回答 95%以上	① 年度初めの計画通りに、通学路において立哨指導をする。 ② 学校行事の後に集会を開き、全校生徒に注意喚起をする。また、学年集会や学級においても「自分の命は自分で守る。」指導を行う。	